

令和5年度第1回 島田市環境審議会会議録

1. 日時 令和6年1月31日(水) 14時00分～16時00分
2. 会場 島田市役所 第三委員会室
3. 出席者 <委員>
平井会長、木村副会長、伊藤委員、杉本委員、三浦委員、榎委員、増田委員、鈴木委員、山本委員、佐藤委員
<事務局>
木村環境課長、和田課長補佐、松田課長補佐、後藤主事、小林主事、中村事務員
4. 傍聴人 0人
5. 開会
6. 課長挨拶
7. 委嘱状交付
8. 議事

(1)正副会長の選出

鈴木委員より、平井委員に会長、木村委員に副会長をお願いしたどうかと意見あり。

異議なしで平井委員に会長、木村委員に副会長をお願いすることで決定。

(2)令和5年度版環境報告書について

変更点を小林主事から説明

・P2 第2次島田市環境基本計画（後期基本計画）の内容から、第3次島田市環境基本計画の内容へ変更。

・2章 P21～22 の間に本来あった「酸性雨」は、令和4年度に酸性雨測定機が故障し測定の実施を取りやめたことに伴い、記載を削除。

・P27 上表「工場騒音・工場振動の基準」の騒音の第4種区域の中から「工業専用地域」の記載を削除。

・P43～… 2次後期計画の数値目標に対する最終評価

・P51～… 計画に記載の個別取組みについて、担当部局による前年度実績報告が掲載

・P63～… 第3次計画についての記載、P66～計画に記載の個別取組みに対する担当部局による目標一覧

第4章について後藤主事から説明

別紙資料参照

質疑応答

(木村委員)

第4章のメタンガスについて表記の方法は適正なのか？温室効果ガスを減らす取組をしているため、この表記の仕方であると、単にCO₂を排出しているように感じるが。

(事務局)

今後、表現方法を検討したい。(文章等で考える)

(平井会長)

島田市の田代環境プラザのシャフト炉はストーカ方式よりCO₂を出しやすい点もあるが、プラスチック資源の循環が問われている。島田市としてどう考えているか。

(事務局)

田代環境プラザは、溶融炉でプラスチックを溶かすことができるが、法律ができて困惑している。現在は様子を見ていく。

(増田委員)

CO₂を運用で減らしていくのは現実的に難しいのではないか。

(事務局)

これから施設の廃止もあるので表現方法として運用等としている。

(増田委員)

自分の会社も焼却炉をもっているが、経年劣化で年々維持費用が掛かるようになってくるが、市のほうはどうか。

(事務局)

我々の施設は現在 18 年目だが、長寿命化をして維持していく予定である。費用も掛かるが、できるだけ長く使用できるように、施設の維持を考えている。

(平井会長)

県内の同じ溶融炉を使っている自治体と情報共有していくとよい。将来、煙突から出ている CO₂ に対して費用が掛かるかもしれない。シャフト炉の良いところは、発電能力がある。したがって悪い事ばかりではない。

(杉本委員)

ごみの事について聞きたい。マイグッズの推奨について十分な PR が行えなかったとあるが、理由が明記されていない。理由はなにか。またマイボトルを推奨すると記載されているのに、本日、ペットボトルが出されるのは違和感を感じる。

(事務局)

理由については担当係に確認し、後日、回答する。

事務局からの回答

令和 4 年度は、生ごみ処理容器のキエーロや雑紙の分別について重点的に啓発を行ったため、くらし・消費・環境展等のイベント以外でのマイグッズに関する十分な P R 活動ができなかった。

(榎委員)

新しい庁舎ができたが、旧庁舎と比べてどれくらい電力の削減できるのか。

(事務局)

新しい庁舎は旧庁舎より面積が広いので、全体量としては新庁舎の方が多くなる。

(鈴木委員)

自治会から、ごみの削減について、一般廃棄物の搬出量が減っていない。自治会としては、努力が足りないと感じている。一般廃棄物を減らすために、市から要請を受けたら自治会も動くが、要請がないと動かないので、考えてほしい。

(事務局)

ごみの排出量は過去と比較してもあまり減っていない。市民は誰かがごみを減らしてくれるだろうと思っている人が多いのではないか。ごみの削減のために市では年間 16 億円の経費が掛かっている。ごみを燃やすために 16 億円がムダに消費してしまっている。ごみを燃やす経費が減ってくれば、その余ったお金を福祉や子育てに充てることができる。2 月に入ってから、一部の自治会のごみの現状について話をしにいく予定である。

(杉本委員)

私は市民の意識を変えるのは大変だと思うが、ごみを減らすことで社会福祉へお金を回すことができればいいと思う。

(事務局)

ビニールを燃やすと、それが燃料になるので燃料が少なくなる。また分別が島田市は緩いので、それが理由で転入してくる人もいます。市民のごみの出し方に対する満足度は高い。

(平井会長)

今日のごみの減量に関する話が多かった。

それから、昨年の報告書で市民から報告書の公表について時期を早くしてほしいという意見があった。

(事務局)

現在では、環境審議会の意見を聞いたあとに公表していたため、時期が遅くなっていたが、これからは、環境審議会の前に公開していきたい。公開後に皆さんから意見を伺って必要に応じて更新していきたい。これにより市民が早期に報告書を見ることができる。

(山本委員)

今までは審議会に掛けた後に公表していたが何か理由があるのか？資料をまとめあげるにどの程度時間が掛かっているのか。

(事務局)

理由としては、条例上に審議会に意見を聞かなければならないとされているため、審議会の後に公表するという解釈をしていたと思われる。しかし、意見を聞いて承認を受けなければならぬと明記はされていないため、運用上、可能であると認識した。資料の取りまとめについては、データは7月末までに集まるが、報告書としては庁内の委員会で確認する必要があり、8月まではかかる。

(佐藤委員)

報告書の作成はデータが固まるのに時間が掛かる。県でも同様に国からのデータも半年ほど掛かっている。

(平井会長)

できるだけ早く公表することはいいことなので、皆さんよろしいですね。

(3)ゼロカーボンの取組方針について

後藤主事より資料を使って説明。別紙、資料参照

(平井会長)

今の話であると、環境計画では協議会を設置することになっているが、具体的な案件が出てきたところで審議会の中で協議し、併せて協議会を設置し進めていきたいということによろしいか。そのような方針でいくので御理解をいただきたい。

9. その他

木村課長より持込ごみの現状（問題点）について説明 別紙参照

(平井会長)

今日は、この話の議論はしないが、これからごみを少しでも減らしていくために、現状を話してもらった。

次回以降に議論をしていく。

以上にて終了